

整理番号	16	都道府県・市名	富山県
------	----	---------	-----

A 地域との連携・協働による新しい高等学校づくり

【産業界との協働の仕組み・体制】

「富山型キャリア教育充実事業」において、キャリア教育を充実させることにより、社会的・職業自立に向け必要な基礎となる能力や態度を育成している。具体的には、

①キャリア教育ドバイザーの配置

- ・県東部・県西部の拠点校に各1名を配置
- ・就職支援やインターシップの推進等

②インターンシップ連絡協議会の設置

- ・県内の経済団体関係者、各教科教育振興会等により構成
- ・インターンシップ等キャリア教育を円滑に実施するためのシステム作りについて協議

③キャリア教育推進委員会の設置

- ・各高校の実務者により構成
- ・インターンシップ等キャリア教育を実施する上での課題について協議

【成果指標・生徒の能力評価】

○インターンシップ体験率(H29年度卒業生)

全体 74.5% (普通科系学科 64.5%、総合学科 56.1%、職業系専門学科 99.8%)
(参考) 全国 34.9% (H29)

○県内就職割合(H30年度卒業生)

95.3% 全国第2位 (前年：94.1% 全国第2位)

○就職後3年以内の離職率(H27年度卒業生)

31.1% (参考) 全国 39.3% (H27年度卒業生)

【今後の課題】

本県では、堅調な地域産業に支えられる形で、高校と地元企業の結びつきを強めてきた。しかしながら、①近年の求人倍率上昇に伴って、生徒が地元の中小企業を避ける傾向が見られること、②第4次産業革命の進展により、企業の求める人材が変化してきていること等から、今後は高校と地域産業界がより連携・協働を強化することが求められる。

そのため、まずは、拠点校を定めて高校と産業界、市町村、高等教育機関等によるコンソーシアムモデルを構築し、やがては全県的に広げていく取り組みが必要である。